

3・4年生のみなさんへ

草津市教育長 川那邊 正

草津市は、1954（昭和29）年に誕生しました。当時3万人だった人口は、2020年には14万人を超え、草津市は大きく発展しています。

「子どもが輝く教育のまち・出会いと学びのまち・くさつ」

これは、草津市が目指している合言葉です。

「出会い」とはなんでしょう。人との出会いもありますが、歴史や伝統文化との出会いもあります。この「わたしたちの草津」は、地域の人と出会い、そして歴史あるものや先人たちの知恵との出会いを通して、自分たちのふるさとである草津市について学び、ふるさとにほこりを持つ人になってほしい、という思いを込めてつくられました。

みなさんには、学習する中で「なぜだろう」「どうしてかな」と自分たちで疑問や課題を見つけ、解決する方法を考えてほしいと思います。また、友だちと協力することで、いろいろな解決方法を見つけたり新たな発見をしたりすることもあるでしょう。さらに、学んだことを自分の言葉で表現し、発信していくことが大切です。

みなさん一人一人が草津市の宝であり、これからの草津市を支えていく大切な存在です。みなさんの力が発揮されることを心から期待しています。

草津市民憲章

私たち草津市民は

- 一. 古い歴史にとけあった新しい文化をつくり、住みよいまちをきずくためにあたたかい心を持ちあって、ともにあすへの歩みを進めましょう。
- 一. 豊かな生産に努めましょう。
- 一. 高い教養を伸ばしましょう。
- 一. 明るい環境を整えましょう。
- 一. 良い風習を育てましょう。

◆1967（昭和42）年5月3日制定

市章



1954（昭和29）年10月15日草津市がたん生しました。

市章は、一般公募して決められました。

「く、さ、つ」をデザイン化したもので、太い線は市の力強さをしめし、全体を横にすれば草津市は日本列島の中央に位置することを表しています。

◆1954（昭和29）年10月15日制定

草津市民歌

作詞 原 道夫／作曲 万城目 正／編曲 山路 進一

1. ここから道が ひらいてる
ここからみんな たちあがる
琵琶湖の風も さわやかに
そうだここから はつらつと
希望かがやく 日がのぼる
ああ草津 草津市われら
2. ここから幸が あふれでる
ここからみんな 手をにぎる
堤のさくら はなやかに
そうだここから いきいきと
文化ゆたかな 花ひらく
ああ草津 草津市われら
3. ここから明日が みえてくる
ここからみんな のびていく
比叡の峰も たからかに
そうだここから たくましく
産業きづく カわく
ああ草津 草津市われら

もくじ

- 草津市全体の地図 1
- 3・4年生のみなさんへ 2
- 学習の進め方 5

1 わたしたちの住んでいるところ

- 学校のまわり（教科書p14～19で学習します。）
- 空から見た草津市の様子 7
- ① 草津市の様子 9

2 わたしたちのくらしとまちではたらく人々

- ① 農家ではたらく人々の仕事（せんたく） 19
- ② 工場ではたらく人々の仕事（せんたく） 27
- ③ 店ではたらく人々の仕事
（教科書p66～89で学習します。）
- 地図帳の使い方
（教科書p156～157と地図帳で学習します。）

3 安全なくらしを守る

- ① 火事から人々を守る 33
- ② 交通事故や事件をふせぐ 39

4 市のようすとくらしのうつり変わり

- 記憶絵（渋川・矢倉・草津・笠縫・笠縫東）..... 43
- ① うつり変わる市とくらし 45

5 わたしたちの県

- 日本の都道府県（教科書p6～7で学習します。）
- ① わたしたちの県の様子 49

6 健康なくらしを守る

- ① くらしをささえる水 59
- ② ごみのしよりと活用 65

7 自然災害から人々を守る

- ① 自然災害から命を守る 69

8 くらしの中に伝わる願い

- ① わたしたちのまちに残る古い建物 75
- ② わたしたちのまちに伝わる祭り 77

9 地いきの発てんにつくした人々

- ① 草津マンポをつくる 79

10 わたしたちの住んでいる県

- ① 市や町をたずねよう 87
- 草津市うつりかわり年表 95

市の木：キンモクセイ



庭木三名木の一つに数えられています。各学校の校庭に庭木として植えられています。

葉は細長い円形でかたく、10月はじめに、よいかおりがするだいたい色の小さな花をたくさんさかせます。

はい気ガスなどの公害にびんかんで、病虫害に強く、高木にならないので、家の庭でよく見かけます。

◆1981（昭和56）年1月制定

市の花：アオバナ



正式名を「大帽子花」といいます。つゆ草のなかまで、つゆ草より大きく、毎年7～8月の早朝に青色の花をさかせます。

この花の青色のしるは、水であらいながせるので、友禅の下絵などを書く染料としてさいばいされました。かつては、青色のしるをしみこませた「青花紙づくり」が草津の特色ある産業としてさかえました。

◆1981（昭和56）年1月制定

「わたしたちの草津」での学習の進め方

写真や資料をよく見よう

写真や資料はたくさんある中から、えらんでのせています。よく見て、大事なことをたくさんみつけましょう。



教科書も上手に使おう

「わたしたちの草津」は、教科書といっしょに使いましょう。見学するときのポイントやまとめ方は、教科書から学びましょう。

学習の進め方を参考にしよう

気づく

気づきやぎもんを話し合っ
て、学習課題をつくりま
しょう。

調べる

調べたいことを整理しま
しょう。

表現する・いかす

分かったことや考えたことをま
とめましょう。また、まとめた
ものを発表したり自分にでき
ることを考え行動したりしま
しょう。

見方・考え方のポイント

見方・考え方のポイントを参考
にしながら学習を進めましょ
う。

- 見学、たんけんなど自分でじっさいに調べてまとめましょう。
- しせつの働きやそこで働く人の工夫や努力を考えてみましょう。
- キャラクターの言葉に注目しましょう。調べ方、まとめ方のヒントが見えてきます。



話し合おう

自分の意見を言ったり、友だちの意見を聞いたりして、考えを深めましょう。

キーワード

学習を進める時に大切な言葉です。意味も覚えておくといいですね。

インターネットやタブレット^{ピーシー}PCを活用しよう

- 電子黒板やタブレットPCを使って、学びを深めましょう。
- 「わたしたちの草津」は、草津市立教育研究所ホームページから見るができます。また、草津市のホームページを活用するなど、インターネットを上手に使いましょう。



まとめ方を工夫しよう

- 草津市の白地図やワークシートを活用しましょう。
- 新聞、カルタ、すごろく、パンフレットづくりなど学習のまとめ方を工夫しましょう。
- 自分の考えや学習のまとめを、自分の言葉でしっかり表したり、みんなに伝えたりしましょう。

身近な生活に目を向け、社会の一員として自分にできることを考え、実行しよう

- 学習では、草津市にあるしせつ^{きぎょう}（企業・博物館^{はくぶつかん}・公共しせつ^{こうきょう}など）が、たくさん出てきます。じっさいに見学に行き話を聞いたり、質問^{しつもん}したりしてみましょう。
- 草津市民としてできることを見つけ出し、実行しましょう。

